

SAMPLE | 金額・年齢・家族構成はすべて架空です

相続準備 ファイナンシャルプラン表

家計全体の中で、損や見落としを減らすための判断材料を見える形にします。

相談テーマ	家族で進める相続準備の相談	ご家族（架空）	本人 68 歳・配偶者 66 歳／子ども 2 人
実現したいこと	暮らしに必要なお金を確保し、家族が手続で困らない状態にする	現在の資産	預貯金 2,400 万円／自宅 2,800 万円／保険 600 万円（すべて架空）

家族とお金の見通し

単位：万円／年（残高のみ万円） ※税金・社会保険料を差し引いた手取り収入で表示

年	年齢 夫・妻	家族の予定	手取り収入	基本生活費	教育・特別支出	相談テーマ費	年間収支	総資産残高
2026	68・66	現在	360	300	40	0	+20	5,800
2030	72・70	住まい修繕	340	310	180	0	-150	5,550
2035	77・75	介護準備	330	340	100	0	-110	5,050
2040	82・80	介護費を想定	330	390	120	0	-180	4,300
2045	87・85	資産引継ぎ	330	400	100	0	-170	3,450

この表から判断できること

01 相続準備の前に、本人と配偶者の暮らし・介護に必要なお金を残します。	02 資産の金額だけでなく、名義・保管場所・連絡先を家族で共有します。	03 家族で決めることと、専門家に確認することを分けます。
--------------------------------------	-------------------------------------	-------------------------------

数値は見本です。実際のプラン表は、相談者の資料と希望を確認して作成します。将来の収支や運用成果を保証するものではありません。

テーマ別の判断プラン

暮らしを守りながら、家族が困らない相続準備は何か

家計の見通しと相談資料の数字を重ね、選択肢ごとの影響を比べます。

資産・手続	現在地	家族で決めること	確認先
預貯金	2行・本人名義	生活費口座と引継ぎ用を分ける	金融機関
自宅	本人単独名義	住み続ける人と管理方法	司法書士・弁護士
生命保険	受取人は配偶者	介護費との配分	保険会社
遺言・税金	未作成・未試算	希望を家族へ共有	弁護士・税理士

次を取る3つの行動

STEP 1 資産の名義・保管場所・連絡先を一覧にし、家族へ保管場所を伝える。	STEP 2 本人と配偶者の生活・医療・介護に残す金額を先に決める。	STEP 3 遺言・名義変更・税額は、一覧を持って各専門家へ確認する。
---	--	---

相談後に手元に残るもの

この2ページのファイナンシャルプラン表を原則2営業日以内に送ります。暮らしに残すお金・家族で決めること・専門家に確認することを、自分で整理できます。

この見本だけでは 決められないこと	財産を誰にどう分けるか、遺言が法律上有効か、不動産の名義変更、正確な税額は専門家が判断します。この相談では、誰に何を相談すべきか判断できる一覧を作ります。
------------------------------	---

運営：スペシャリスト・ドクターズ株式会社（保険代理店）

60分の相談とファイナンシャルプラン表は、相談者の費用負担0円です。運営費は、提携する金融機関から受け取る手数料でまかなっています。

このPDFは表示例です。氏名・契約番号・会社名・金額はすべて架空です。個別の税務・法務判断は、税理士・弁護士・司法書士等へご確認ください。